

鎗田英三教授主要経歴・著作目録

学 歴

- 1969年 3月 早稲田大学第一政治経済学部経済学科卒業
1972年 3月 一橋大学大学院経済学研究科経済史及び経済政策専攻修士課程
修了
1975年 3月 一橋大学大学院経済学研究科経済史及び経済政策専攻博士課程
単位取得満期退学

職 歴

- 1975年 4月 九州産業大学商学部専任講師
1979年 4月 九州産業大学商学部助教授
1980年10月 西ドイツ・ミュンスター大学客員研究員（～1981年 3月）
1982年 4月 長崎大学経済学部助教授
1982年 4月 佐賀大学経済学部非常勤講師（～1984年 3月）
1987年 4月 大分大学経済学部非常勤講師（～1988年 3月）
1988年 9月 西ドイツ・ハンブルク大学客員研究員（～1989年 8月）
1989年 1月 長崎大学経済学部教授
1990年 4月 駿河台大学経済学部教授
1992年 4月 山形大学法文学部非常勤講師（～1993年 3月）
1993年 4月 東京外国語大学外国語学部非常勤講師（～2006年 3月）
1994年 4月 流通経済大学経済学部非常勤講師（～2004年 3月）
1995年 4月 長崎大学経済学部非常勤講師（～1996年 3月）
1996年 4月 駿河台大学経済学部長（～2000年 3月）
2000年 4月 駿河台大学経済学研究科長（～2002年 3月）
2002年 4月 駿河台大学経済学部長（～2006年 3月）
2006年 4月 駿河台大学経済学研究科長（～2008年 3月）
2011年 4月 駿河台大学副学長（～2013年 3月）

著 作

I 著書

- 『技術移転と産業発展に関する総合的研究』長崎大学経済学部, 1985年3月
『ドイツ手工業者とナチズム』九州大学出版会, 1991年5月
『ドイツ手工業者とナチズム』(第二版)九州大学出版会, 1993年3月
『20世紀ドイツの光と影』(編著)芦書房, 2005年
『製パンマイスターとナチス』五弦舎, 2011年

II 学術論文

- 「ナチス体制成立の一側面—手工業者の社会経済的分析」『季刊社会思想』3—3, 4号, 1974年
「ヴァイマル期手工業の経営構造」『一橋論叢』72—5号, 1974年
「製パン手工業における合理化—ヴァイマル期合理化運動への一視角」『九州産業大学商経論叢』18—4号, 1978年6月
「ドイツにおける技術制度の発展と工業経営の構造変化」『九州産業大学商経論叢』20—4号, 1980年6月
「ヴァイマル期における手工業者の信用問題」『九州産業大学商経論叢』22—1号, 1981年9月
「ドイツ帝制期の製パン職人の運動」『経営と経済』(長崎大学)63—3号, 1984年3月
「恐慌期におけるドイツ社会民主党の中間層観—とくに手工業者との関連で—」『経営と経済』(長崎大学)64—3号, 1984年12月
「ドイツ・ヴァイマル期における深夜業禁止をめぐる抗争」『経営と経済』(長崎大学)65—2, 3号, 1985年10月
「ナチス体制におけるユダヤ人への差別・迫害」『ながさき部落解放研究』11号, 1985年10月
「恐慌期における手工業の職業身分思想」『経営と経済』(長崎大学)66—1号, 1986年6月
「手工業者とナチ」『土地制度史学』18号, 1988年6月
「ナチの手工業者への対応」『経営と経済』(長崎大学)69—1号, 1989年6月

- 「恐慌期のドイツ製パン手工業者」『駿河台経済論集』1—1号, 1990年6月
- 「北朝鮮社会主義経済—歴史的視点からの再検討—」『駿河台経済論集』2—2号, 1993年3月
- 「ナチ体制下の製パン手工業者（上）」『駿河台経済論集』4—2号, 1995年3月
- 「ナチ体制下の製パン手工業者（中）」『駿河台経済論集』11—1号, 2001年3月
- 「ナチ体制下の製パン手工業者（下）」『駿河台経済論集』12—1号, 2002年9月

Ⅲ 書評

- 高木健次郎著『教育改革と市民社会』『九州産業大学商経論叢』20—4号, 1975年5月
- 大野英二著『現代ドイツ社会史研究序説』『土地制度史学』26—3号, 1984年4月
- 柳沢治著『ドイツ中小ブルジョワジーの分析』『社会経済史学』56—5号, 1991年2月
- 一条和生著『ドイツ社会政策思想と家内労働問題』『歴史学研究』620号, 1992年6月

Ⅳ その他

- 「東独の外国人労働者雇用問題」『世界経済評論』1974年6月
- 「海外におけるドイツ・ヴァイマル期研究の現段階（その一）」『九州産業大学商経論叢』17—1号, 1976年9月
- 「海外におけるドイツ・ヴァイマル期研究の現段階（その二）」『九州産業大学商経論叢』17—4号, 1977年5月
- 「肥前陶磁器産業研究における若干問題点」『九州産業大学産業経営研究所報』14号, 1982年3月
- 「加害の根源にあるもの」『原爆と朝鮮人—長崎朝鮮人被爆者実態調査報告書第四集』長崎在日朝鮮人の人権を守る会, 1986年9月
- 「海外におけるドイツ・ヴァイマル期研究の現段階（その三完）」『九州産業

- 『大学商経論叢』18—1号, 1988年9月
- 「悪女ヒトラー」『駿河台経済論集』5—1号, 1995年9月
- 「ドイツ手工業と地域社会」『はんしん景況レポート』13号, 2001年
- 「中小企業のこれから」『はんしん景況レポート』27号, 2003年3月
- 研究報告「地域と大学」『駿大・地域フォーラム』創刊号, 2003年
- 「大学と地域貢献の促進—地域づくりの学生参加教育プロジェクトを中心に—」『大学と学生』492号, 日本学生生活支援機構, 2005年8月
- 「ヒトラー再考」『アソシエ21 ニュースレター』2006年6月
- 「若者の地域雇用の促進を」『はんしん 景況レポート』39号, 2007年4月
- 「歴史は二度繰り返すか—1930年代と現代」『アソシエ21 ニュースレター』2008年12月
- 「地域が元気なドイツ」『駿大・地域フォーラム』8号, 2011年
- 「地域が元気なドイツに学ぶ」『埼玉新聞』2012年7月21日
- 「なぜ『アンネの日記』が破られるのか—ヴァイツェッカードイツ大統領の戦後反省演説を読む」『婦人通信』2013年9月号
- 「ヒトラーがまたやってくる」『所沢マスコミ・文化人9条の会 会報』第96号, 2014年2月
- 「どこか似ているヒトラー政権と現代日本」『所沢マスコミ・文化人9条の会 会報』第97号, 2014年3月
- 「ヒトラー政権と現代日本 安倍とは真逆の経済政策で支持を得る」『所沢マスコミ・文化人9条の会 会報』第98号, 2014年4月
- 「安倍首相とヒトラーは真逆」『埼玉新聞』2014年5月29日
- 「安倍はヒトラーを超えている」『所沢マスコミ・文化人9条の会 会報』第110号, 2015年5月
- 「アメリカとの同盟はN0!」『所沢マスコミ・文化人9条の会 会報』第114号, 2015年9月
- 「壮大な実験 駿大・駿大・地域フォーラム」『駿大・地域フォーラム』13号, 2015年
- 『経済学部学生論集』巻頭言
- 創刊号 「収穫を喜ぶ」 1997年3月
- 2号 「カオスに向かって飛び立つ君たちへ」 1998年3月

4号 「21世紀に持っていくもの」	2000年3月
7号 「一途さ」	2003年3月
8号 「言葉の力」	2004年3月
9号 「別れと出会い」	2005年3月
10号 「最後のラブレター」	2006年3月

V 報告・講演

報告「ドイツ・ヴァイマル期製パン手工業における深夜業禁止をめぐる抗争」
於土地制度史学会, 1984年

「書評 柳沢治『ドイツ中小ブルジョワジーの分析』」於ドイツ資本主義研究会, 1991年6月

「拙著『ドイツ手工業者とナチズム』」於現代史研究会, 1991年10月

「ドイツ手工業者とナチズム」於東京大学経済学部比較経済史ジョイントセミナー, 1991年12月

「拙著『ドイツ手工業者とナチズム』」於ドイツ資本主義研究会, 1991年12月

「書評 永岑三千輝『ドイツ第三帝国のソ連占領政策と民衆 1941—1942』」
於ドイツ資本主義研究会, 1995年6月

「拙著『製パンマイスターとナチス』」於ドイツ資本主義研究会, 2013年12月

「環境保全と経済発展の両立を目指して」第一回環境と経営フォーラム（埼玉中小企業家同友会主催）, 2005年3月11日

講演「元気の出る地域」駿河台大学公開講座, 2003年10月25日

「ヨーロッパにおける福祉について」駿河台大学公開講座, 2007年6月2日

「ドイツの高齢者」敬愛大学公開講座, 2008年6月12日

「地域と大学」飯能ロータリークラブ, 2012年10月3日

豊岡ブチ大学講座

「元気なドイツの地域経済—ドイツから日本を知る—」2006年10月27日, 11月10日

「『悪女ヒトラー』」2012年8月4日

「ユダヤ人とヒトラー」2013年3月2日

「歴史に見るユダヤ人」2013年3月9日

「ハーメルンの笛吹き男伝説」2013年8月3日

「わが国の家族のありかた—歴史と現在—」2013年11月9日

「ヒトラーがまたやってくる—ナチスから今を見る—」2014年5月17日, 5月24日

「ヨーロッパ中世における自然と人間の関係」2014年6月7日

「なぜ『アンネの日記』が破られるのか ドイツヴァイツゼッカー大統領の戦後反省演説を読む」2014年5月24日

「格差問題を考える—河上肇『貧乏物語』を読む」2015年5月23日

「格差問題を考える (2) —トマ・ピケティ『21世紀の資本』を読む」2015年6月27日

「沈み大国アメリカ」2015年7月25日

「アベノミクスを考える」2016年3月

「未来の経済システムに向けて」2016年3月